

広報委員会の研修報告

桜井和子

交通事情により研修テーマが2点となりました。

1) 住民に伝わる情報発信と作成のポイント

情報を伝えると伝わるは別である。

伝える - 情報の送り手が一方的に流す。

相手の気持がわからない

伝わる - 受け手が発信された内容を理解した。

情報の先には必ず「住民」がいるとの思い

受け手を意識したコミュニケーション作りが必要である。

広く聞き、広く報せる事が大事

2) 優秀議会広報が教えてくれる事

伝わるための広報 読んでもらえる

議会たより作成に工夫している

◎ 町民参加型の紙面づくり

◎ 読みやすい、住民の知りたいニーズに充てる

◎ 見出しでわかる紙面づくり

◎ 写真で伝える

◎ 議案は町民の関心が高いものから掲載
など工夫している。

感想、

議会だよりで、若者世代 100人に

1. 10年後住みたい町. 2. 町の可能性を

生かしていくポイント 3. 町を変えていく

ために必要な事のアンケート調査結果と

一緒に若者の写真が掲載されて

いました。青年の声が聞こえてくるようで

とても良い企画ではないかと感じました。

一度取り組んではいかがでしょうかと思います。